

2013 賀川記念館 since 1909

KAGAWA MEMORIAL CENTER

総合研究所 《講座》《研修》《研究》 公開プログラム

リーダーシップ養成

東日本大震災をどのように受け止めたらよいのでしょうか。また、地域にどのように向き合うことができるのでしょうか。

私たちに与えられたさまざまな課題を学ぶプログラムを用意いたしました。ともに学び、ともに語り合い、ともに生きるために、賀川記念館と一緒に歩みませんか？

暮らしと火水木風土



現代社会とキリスト教

地域とつながる

賀川と差別

現代社会とキリスト教 ～死と向き合う第1弾～

「死に逝く人に寄り添って 祈りの音楽にのせて、リラ・プレカリア(祈りのたて琴)の働き」

今年のテーマは「死」。死とどう向き合うのか。現代社会では、畳の上で死ぬなくなったと言われます。また、医療技術の発達などにもとない尊厳死や延命治療など、医療的な側面に加えて倫理的な側面も深く考慮しなくては死を迎えられない現実が存在し「死」の周辺での議論が多様化しています。一方で、自死

者とその遺族の課題にも丁寧に向き合うことが求められているでしょう。わたしたちは、戸惑いを覚えることも多いのではないのでしょうか。わたしたちは、死と向き合いながら生きる2人の女性をお迎えします。



ハーブ演奏とお話 **キャロル・サック**

キャロル・サック (Carol Sack) プロフィール



アメリカ福音ルーテル教会 (ELCA) の宣教師として 1982 年に来日。2000-2002 年、モンタナ州ミズーラにある「安らぎの杯プロジェクト」(Chalice of Repose Project School of Music Thanatology) にて音楽による死の看取りを学び、音楽死生学の分野で資格認定を受けて日本に戻る。2006 年、日本福音ルーテル社団 (JELA) が主催し、音楽死生学に独自の要素を加えて発展させた 2 年間の研修講座「リラ・プレカリア(祈りのたて琴)」を立ち上げ、終末期にある人だけではなく、心身の苦難にある人びとにもハーブと歌による生きた祈りを届けるボランティアの養成に励んでいる。現在第 4 期を開講中。修了生は、病院やホスピス、老人ホーム等で活動している。

2013 年 **5 月 25 日** (土) 14:00 ~ 16:00
(途中休憩 15 分有り)

5/25

会場：**賀川記念館** 4F メモリアルホール

神戸市中央区吾妻通 5-2-20

事務局：電話：078-221-3627

E-mail：office@core100.net

参加費：500 円 (参加お申し込みは賀川記念館事務局まで)

※駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場をご利用下さい。